

# JICAアドバイザーからのご挨拶





# こんにちは!

ネパール投資庁（OIBN）に派遣されている JICA 外国投資アドバイザーの三島一夫です。

メールアドレス: [mishima-kz@k-rc.co.jp](mailto:mishima-kz@k-rc.co.jp)

ネパールでの携帯電話：+977-980-4615 300

## 外国投資アドバイザーの役割:

### 派遣の目的

ネパール投資庁（OIBN）の能力向上を支援し、ネパールへの投資促進にかかる課題や施策の整理・共有化を進めることにより、ネパールへの外国投資拡大、投資・ビジネス環境の整備、産業人材育成を支援する。

### 派遣期間

2023年1月～ 2025年1月

シャトル型派遣であり、アドバイザーは期間中に計6回、ネパールに渡航する。

# 外国投資アドバイザーの役割:



## 活動内容

### 1. 投資庁の能力強化

- 1) 外国投資促進に資する外国投資政策の策定・実施に対する助言
- 2) ネパール投資に関する情報を外国投資家に提供する投資家向けサービス（投資家デスク）の開始・運営に関する助言
- 3) ネパール国内外での投資促進セミナーの実施に関する助言
- 4) 官民パートナーシップ（PPP）プロジェクトの契約交渉、締結、実施に関する助言

# 外国投資アドバイザーの役割:

## 活動内容

### 2. 外国投資家向け統合サービス実現のための投資関連機関の連携促進

- 1) 工業・商業・供給省 (MoICS) とSEZ庁との投資手続きやその運用での連携に関する助言

### 3. ネパールでのビジネス開発

- 1) 外国投資家に対する投資情報の提供
- 2) ネパールへの投資を計画する外国企業に対する投資アドバイスの提供
- 3) JICA技術協力プロジェクト「「海外就労者キャリア開発・起業家支援プロジェクト」との連携

# ネパール投資の魅力

## ネパール投資のポテンシャル

インフラ整備の遅れや非効率な行政などネパール投資には幾つもの課題が残されている。しかし、ネパール投資への投資は以下のような魅力を持っている。

- ◎ さまざまな**豊富な資源**の存在（水力発電、観光資源、農業資源、人的資源など）
- ◎ **3千万の人口**を抱える国内市場
- ◎ 新型コロナ後の**穏やかな経済成長の持続**の見込み
- ◎ 堅実な**投資環境改善**の進捗
- ◎ 新しい成長ハブである**南アジア経済圏**における立地

代表的な有望セクターを紹介します:

## 水力発電

ネパールが保有する技術的に開発可能な水力発電能力は83GWである。このうち、42GWが経済的に開発可能と見なされています。

この潜在発電能力が開発されれば、自国の電力需要を満たすだけでなく、隣国のインドやバングラデシュへの供給も可能になると期待されている。



ネパール政府は、PPPによる水力発電事業の推進に取り組んでおり、PPP事業の環境整備も進めている。

代表的な有望セクターを紹介します:



## IT産業

ネパールでは多くのIT企業が設立されており、有望セクターとしてIT産業が急速に台頭しています。ネパール政府はスタートアップビジネスを奨励しており、IT産業エコシステムの整備も進めています。

ネパール国内だけでなく国際的にもICTサービスへの需要は著しい伸びを示しています。ネパールのITビジネスへの投資は、ネパールの時差のメリット、低コストオペレーションのメリットの活用が可能となります。



有能な若い人口が増加していることもIT産業にとっての魅了になっています。ネパールではIT教育機関の数も増えています。

代表的な有望セクターを紹介します:



## その他

### 観光

ネパールは、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれた国です。観光産業は、ホテル、レストラン、交通といったインフラ整備から、独特の観光商品の開発に至るまで、さまざまな外国投資の可能性を有しています。

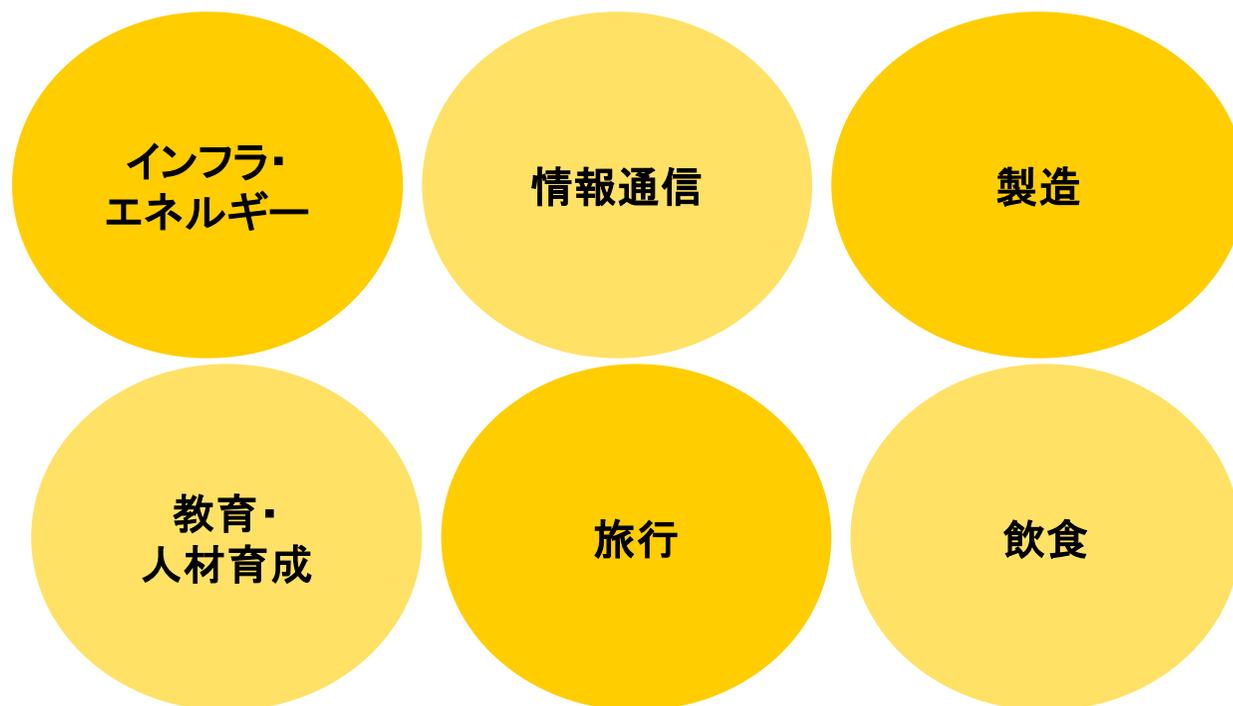
### 農業・農産品加工

ネパールには豊富な農業資源があり、カルダモン、生姜、茶、コーヒー、豆類、果物、野菜などは主要な輸出農産品になっています。ネパールは、また、多様なハーブやスパイスを産出しています。農産品の生産、加工、輸出は外国投資家にとっても可能性を持っています。

## 日本企業のネパール投資:

### 投資分野

在ネパール日本人会商工部会は、以下の6つの業種で活動する58の企業/機関で構成されています。



## 日本企業のネパール投資:



### ロートメンソレータムネパール社



ロートメンソレータムネパール社のスキンケア製品



ロート製薬株式会社は、東京証券取引所にする消費向けスキンケア製品や医薬品の製造販売を行っています。ロート製薬はグローバルに事業を展開し、現在では世界150カ国以上に製品を供給しており、世界各国に拠点や工場を持っています。

ロートメンソレータムネパール社は2018年に設立されました。同社は、ネパールにおいて様々なスキンケア製品を生産しています。同社はネパール市場において積極的にマーケティングを行っています。

同社は、カトマンズ市内にオフィスがあり、工場と倉庫はカトマンズの東約30kmの距離にあるバネパに立地しています。

# 日本企業のネパール投資:

## 株式会社安藤・間



ナグドゥンガ・トンネル建設計画



ポカラ上水道改善計画

- 株式会社安藤・間は、東京証券市場に上場する建設会社です。ネパールを含め14カ国に拠点を有しています。
- ネパールでは日本の政府開発援助（ODA）プロジェクトの土木工事（道路、橋梁、ダム等）、建築工事（病院等）を行っています。
- ネパールでの事業は1983年～1986年に施工の第2クリカニ水力発電所建設工事に遡ります
- 首都カトマンズからタライ平原をつなぐ全長160kmのシンズリ道路建設は、1996年から20年をかけて2015年に完成。竣工直後の大地震でも同道路には通行止めは発生せず、日本の高い技術力・信頼性を証明することになりました。
- 現在はネパール初の道路トンネルとなるナグドゥンガトンネル建設、ポカラ上水道改善計画を施工中。
- ネパールでの事業は単なる建設工事の施工だけでなく、現地の建設会社と協力して、また現地の人々とともにプロジェクトを行うことにより、日本の技術移転、及び人材の育成・教育も含めた幅広い支援を目指しています。



# ご静聴ありがとうございました!

ネパール投資に関する情報提供、投資相談のお問い合わせは、以下のメールにご連絡ください：

- [mishima-kz@k-rc.co.jp](mailto:mishima-kz@k-rc.co.jp)

